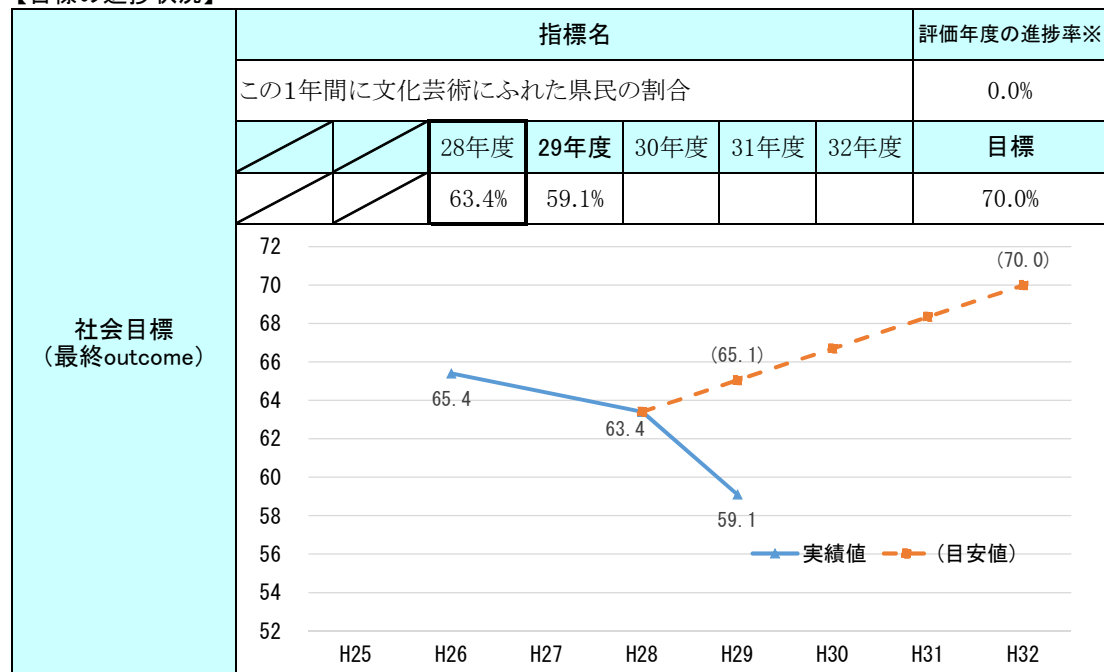


総合計画政策評価帳票  
(様式2-1) 施策評価シート

【施策概要】

施策名	ちば文化の創造と千葉県民のアイデンティティーの醸成		施策主務課	環境生活部県民生活・文化課	施策コード	I-4-①
総合計画の位置づけ	I 安全で豊かな暮らしの実現		4 文化とスポーツで輝く社会づくり			
施策目標(定性目標)	県民や関係団体、市町村などと連携して、「ちば文化」に親しめる環境をつくるとともに、「ちば文化」を継承し、新たな「ちば文化」を創造します。県民の千葉県に対する愛着や誇りを育みます。					
社会目標(定量目標)	この1年間に文化芸術にふれた県民の割合			-		
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	3,264,171	3,353,668			
	決算額(千円)	3,202,407				
施策内の主な取組	取組名			29年度予算額(千円)	29年度決算額(千円)	
	1 文化芸術を鑑賞・参加・創造する環境づくり			116,675	116,453	
	2 地域文化の保存・継承・活用による地域づくり			493,530	495,944	
	3 ちば文化の多様性と発信力強化による新たな価値の創出			103,753	96,113	
	4 ちば文化の総合的な推進のための支援・連携体制の構築			1,820,448	1,773,570	
	5 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたちばの文化力向上			729,765	720,327	
施策計			3,264,171	3,202,407		

【目標の進捗状況】



※太枠で囲んだ年度の数値は、目標設定時の現状値。 ※評価年度の進捗率=(評価年度の実績値-目標設定時の現状値)÷(評価年度の目安値-目標設定時の現状値) ※グラフ上の数値は端数処理により表記。

行政活動目標 及び 補助指標	進展度		
	(達成数/設定数) = 7 / 14		50.0%

【主な実施事項と成果】

<p>主な実施事項と成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度は美術館、現代産業科学館、中央博物館の特別展・企画展等が好評を博しました。しかし、関宿城博物館や、房総のむら等の、第1四半期の集客イベントや屋外行事の多くが想定した入場者数が得られず、結果的には920,969名となりました。</li> <li>文化活動を通してのボランティアを企画している者と、ボランティア活動の受け入れを希望する者とを結びつける手伝いなど、文化芸術活動を支える「文化活動ボランティアネットワーク事業」についてはボランティアの活動状況を調査・確認した結果、登録件数は37件となりました。</li> <li>平成28年度後半から、東京オリンピック・パラリンピック大会の機運醸成のため、公認文化オリンピアド<sup>※</sup>の認証が開始され、大会組織委員会や国等とともに広報活動に努めたところ、29年度は目標を大きく上回るアーティストが公認文化オリンピアドに参加しました。</li> <li>県内の文化芸術活動を牽引するシンボリックな事業として、「千葉・県民音楽祭(県民参加型コンサート)」と「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』選定事業」を実施しました。「千葉・県民音楽祭」では33名のアマチュア演奏者が参加し、プロのオーケストラとの共演により高い技術に触れることができました。また、「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』選定事業」では、候補として649件の建造物、街並み、祭りや伝統芸能等の応募があり、県民が県内の多様な文化を再認識するきっかけとなりました。</li> </ul> <p>※公認文化オリンピアド:「オリンピック憲章」に基づいて行われる、東京オリンピック・パラリンピック大会の公式文化プログラム。プログラムのうち、大会組織委員会や国、会場所在地公共団体等が実施主体として行う事業が「公認文化オリンピアド」として認証の対象となる。</p>
------------------	---

【要因分析】

<p>社会目標の 要因分析</p>	<p>この1年間に文化芸術にふれた県民の割合</p> <p>この1年間に文化芸術にふれた県民の割合は、前年度に比べて4.3%減少しました。県では、文化芸術にふれ親しむ様々な機会を提供していますが、普段文化芸術にふれていない、もしくはふれる頻度が少ない県民に対して鑑賞・参加を促すことにはつながっていない状況にあります。</p>
-----------------------	---

【課題】

<p>要因分析を 踏まえた 目標達成等に 必要な課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>美術館・博物館においては、魅力ある展示会やイベントを企画して、集客力を高める必要があります。</li> <li>文化活動ボランティアの登録件数を増加させるためには、千葉県ホームページによる事業の広報を行い、文化活動ボランティアを広く周知する必要があります。</li> <li>公認文化オリンピアドを含め、文化プログラムへの参加方法や鑑賞機会について、さらに広報を行っていく必要があります。</li> <li>「千葉・県民音楽祭」ではアマチュア演奏者として主に管弦楽の演奏者が参加しましたが、様々な音楽の分野や、障害者など、さらに多様な県民の文化芸術活動への参加を促していく必要があります。</li> </ul>
--	--

【取組方針】

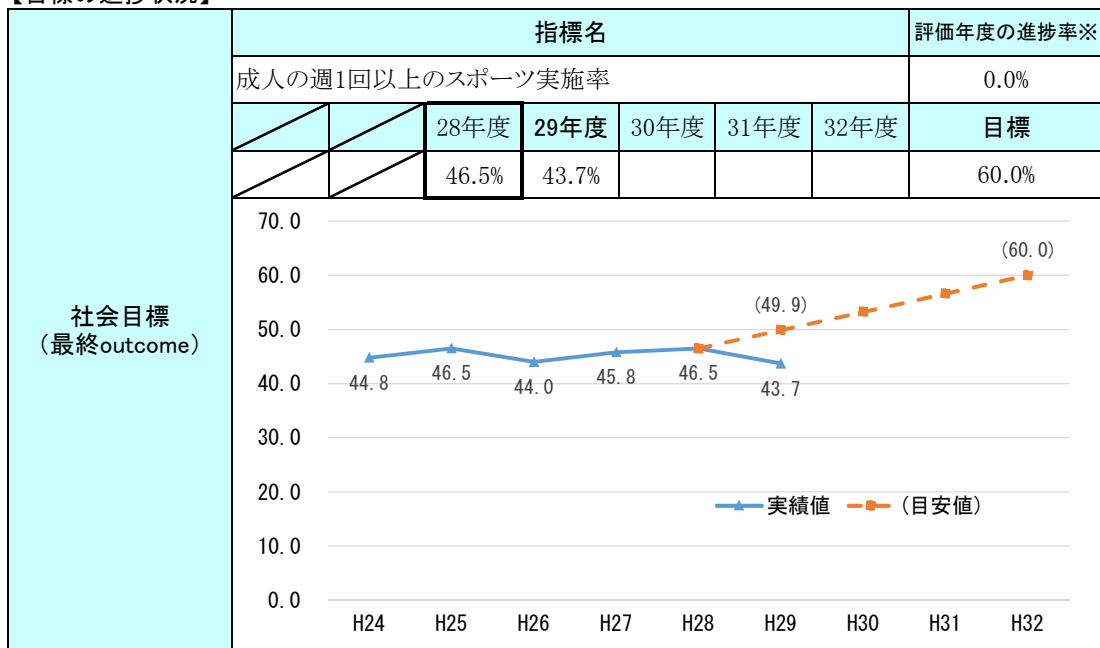
<p>課題を踏まえた 具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>美術館・博物館の展示事業では、テーマをより県民の関心が高い分野や本県の魅力発信が効果的に図れる分野とし、地域の施設や産業と連携して開催します。</li> <li>千葉県ホームページにより、文化活動ボランティア事業の説明や、マッチングまでの流れ等の情報を充実させます。</li> <li>千葉県ホームページ等の様々な媒体を活用し、公認文化オリンピアド等の文化プログラムの周知を行います。</li> <li>「千葉・県民音楽祭」では新たに合唱やダンスの実施、さらには障害者の方の参加を促します。また平成29年度から候補を募集し、選定を行っている「ちば文化資産」をテーマとした絵画や写真等の作品を県民から募集する等、県民参加型の文化プログラムを企画し、文化にふれる県民の増加を図ります。</li> </ul>
---------------------------	--

総合計画政策評価帳票  
(様式2-1) 施策評価シート

【施策概要】

施策名	「するスポーツ」、「みるスポーツ」、「ささえるスポーツ」の推進		施策主務課	教育庁教育振興部体育課	施策コード	I-4-②
総合計画の位置づけ	I 安全で豊かなくらしの実現		4 文化とスポーツで輝く社会づくり			
施策目標(定性目標)	全ての県民が多面にわたるスポーツの価値を共有しながら、健康で活力ある生活を送り、互いに支え合う「スポーツ立県ちば」の一層の推進を図ります。					
社会目標(定量目標)	成人の週1回以上のスポーツ実施率		-			
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	2,613,193	2,897,474			
	決算額(千円)	2,169,480				
施策内の主な取組	取組名			29年度予算額(千円)	29年度決算額(千円)	
	1	人生を豊かにするための運動・スポーツの推進		17,900	17,729	
	2	スポーツ環境の整備		696,350	335,282	
	3	競技力の向上		1,553,443	1,516,098	
	4	スポーツによる地域づくりの推進		59,100	55,626	
	5	東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進		286,400	244,745	
	施策計			2,613,193	2,169,480	

【目標の進捗状況】



※太枠で囲んだ年度の数値は、目標設定時の現状値。 ※評価年度の進捗率=(評価年度の実績値-目標設定時の現状値)÷(評価年度の目安値-目標設定時の現状値) ※グラフ上の数値は端数処理により表記。

行政活動目標 及び 補助指標	進展度		
	(達成数/設定数) =	8	/ 14

【主な実施事項と成果】

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月のスポーツ推進月間を中心に、総合型地域スポーツクラブと小学校が連携した「スポーツで元気いっぱい！親子体験イベント」及び総合型地域スポーツクラブ交流大会「スポネットちば」等を開催し、生涯スポーツの推進を図りました。</li> <li>・生涯スポーツ認定指導者等養成講習会、認定スポーツ指導者・地域スポーツ指導者研修会などを開催し、生涯スポーツを推進するための人材を養成するとともに、県立学校の体育施設の開放などを行いスポーツをする環境を整えました。</li> <li>・「愛媛国体」に出場する選手の強化練習・合宿、県外遠征等を40競技で行い、天皇杯得点8位、皇后杯得点6位入賞を果たすことができました。</li> <li>・児童と保護者をプロスポーツ公式戦に招待しキャリア体験の場を提供する「ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト」、トップ・プロチームに所属する選手やOBを講師として派遣する「ちば夢チャレンジかなえ隊」を展開し、多くの子供たちにプロスポーツの素晴らしさに触れてもらう機会を作りました。</li> <li>・東京オリンピックを目指す選手を強化指定し支援を行いました。また、東京パラリンピックに出場が期待される有望な選手を掘り起こすための競技体験会を開催しました。さらに、「オリパラ教育実施校」の認証を行い、子供たちにオリンピック・パラリンピックの魅力を感じてもらおう取組を行っています。</li> <li>・「ちばアクアラインマラソン2018」の開催にあたり、マラソン参加への心理的ハードルを下げ、より幅広い層に「するスポーツ」の楽しさを感じる機会を提供するため、家族や仲間等とチームで気軽に参加できるよう複数名のグループエントリーを採用し、参加チームごとにタイムを競う「団体戦」を新たに実施することとしました。</li> </ul>
-----------	---

【要因分析】

社会目標の 要因分析	成人の週1回以上のスポーツ実施率	29年度の成人の週1回以上のスポーツ実施率は、43.7%と前年を下回る結果となりました。世代別に見ると、60歳代以上は高い伸びを示している反面、20代から50代の実施率は前年を下回っています。県では、「スポーツ推進月間」としている10月を中心にイベントを開催するなどの活動を行っていますが、スポーツに関心はあるが「忙しくて時間がない」「疲れていて体力的余裕がない」等の理由で、20歳から50歳代のスポーツ実施率は上がっていません。
---------------	------------------	---

【課題】

要因分析を 踏まえた 目標達成等に 必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らスポーツに参加することの楽しさとスポーツが健康の保持増進・体力の維持向上に繋がることを啓発していくとともに、「いつでも・誰でも・どこでも・誰とでも」気軽にスポーツに取り組める環境を整備することが必要です。</li> <li>・総合型地域スポーツクラブは現在35市町に設立されていますが、地域でのスポーツ拠点として県下全域での設立が望ましいと考えます。そのために、設立・維持のためのサポートを継続的に進めていく必要があります。</li> <li>・トップ・プロスポーツ団体とコラボレーションした「ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト」では申込方法において学校の負担が大きくなっていたり、「ちば夢チャレンジかなえ隊」では訪問できる日数が限られ一部の学校しか参加できないなどの点について、さらに検討を進める必要があります。</li> </ul>
----------------------------------	--

【取組方針】

課題を踏まえた 具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「千葉県スポーツ情報センター」と連携し、県立スポーツ施設の無料開放等によるスポーツを行うことのできる場の提供、「スポーツ立県ちば推進月間」関連イベントの実施や紹介等の機会の提供、スポーツイベントや公共スポーツ施設利用に関する情報の提供等を行っていきます。</li> <li>・総合型地域スポーツクラブの未設置市町村に対しては、県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と連携してクラブ設置への機運を高めるとともに、県のホームページ等に、クラブ設立や運営にかかる事例を紹介したり、既設のクラブにおけるOJT等の実践的なクラブマネージャーの養成に努めます。</li> <li>・「ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト」「ちば夢チャレンジかなえ隊」については、学校や保護者の要望の把握と、学校行事やプロスポーツ団体の競技シーズンのすり合わせを行い、よりよい事業展開をすることで、「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の推進を図っていきます。</li> <li>・「ちばアクアラインマラソン2018」では、大会のポイント(ランナー募集期間や大会前イベントなど)となる時点を中心に、テレビやラジオ・新聞を活用した広報、また他のキャンペーンやイベントと連携した効果的な盛り上げ方策などを検討していきます。また、大会運営員(ボランティア)の確保に努め、説明会を早期に開催し、多様化するニーズに応じた大会運営に努めます。</li> </ul>
-------------------	--

# 平成29年度千葉県総合計画政策評価帳票（主な取組）

## I - 4 - ①ちば文化の創造と千葉県民のアイデンティティーの醸成

- 1 文化芸術を鑑賞・参加・創造する環境づくり
- 2 地域文化の保存・継承・活用による地域づくり
- 3 ちば文化の多様性と発信力強化による新たな価値の創造
- 4 ちば文化の総合的な推進のための支援・連携体制の構築
- 5 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたちばの文化力向上

総合計画政策評価帳票  
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	1 文化芸術を鑑賞・参加・創造する環境づくり		取りまとめ担当課	環境生活部県民生活・文化課	取組コード	I-4-①-1
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	116,675	120,433			
	決算額(千円)	116,453				

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	補助指標 (中間outcome)	「千葉・県民芸術祭」参加人数	65,891人 (28年度実績値)	66,000人 (29年度目標値)	64,645人 (29年度実績値)	
県立文化会館の入場者数		883,684人 (28年度実績値)	増加を 目指します (29年度目標値)	877,198人 (29年度実績値)		未達成
美術館・博物館入場者数		982,197人 (28年度実績値)	983,000人 (29年度目標値)	920,969人 (29年度実績値)		未達成
行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	「千葉・県民芸術祭」実施事業数	28件 (28年度実績値)	29件 (29年度目標値)	31件 (29年度実績値)		達成
	「学校における音楽鑑賞事業」、「県民芸術劇場公演事業」の開催件数	92件 (28年度実績値)	96件 (29年度目標値)	106件 (29年度実績値)		達成

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
行政活動目標 (output)	学校・社会教育施設等における出土文化財活用事案件数	115件 (28年度実績値)	120件 (29年度目標値)	117件 (29年度実績値)		未達成
	千葉フィールドミュージアム事業における観察会等件数	90件 (28年度実績値)	80件 (29年度目標値)	98件 (29年度実績値)		達成

主な実施事項と 成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>「千葉・県民芸術祭」については実施事業数は3件増え、目標を達成しましたが、参加人数については前年度より約2%減少し、目標を達成できませんでした。</li> <li>平成29年度は美術館、現代産業科学館、中央博物館の特別展・企画展等が好評を博しました。しかし、関宿城博物館や、房総のむら等の、第1四半期の集客イベントや屋外行事の多くが想定した入場者数が得られず、結果的には920,969名となりました。</li> <li>出土文化財活用事業では、土器や石器など出土文化財を活用し、学校等への貸出や出前授業・体験学習を「土器ッと古代“宅配便”」事業として117件実施しました。また、学習指導要領に基づいて作製した「学習キット」の内容を精選し、流山・野田・鎌ヶ谷・松戸・船橋市の市立小学校に配付し、歴史学習の教材として活用することができました。</li> </ul>
取組推進に 当たったの 問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「千葉・県民芸術祭」については、実施事業数(参加文化芸術団体)の増加が参加人数の増加には結びついておらず、これは広報の不足や各団体の会員の高齢化等により参加者が減少していると考えられます。</li> <li>美術館・博物館においては、展示会やイベントの成否が年間の入場者数の多寡に大きな影響を及ぼしています。</li> <li>「学校・社会教育施設等における出土文化財活用事案件数」については、前年度に比べ2件増加しましたが、目標値は達成できませんでした。これは、貸出し件数の減少に伴うものであり、自主事業として運営をする学校・博物館が減少し、それらの依頼件数が減ったことによります。</li> </ul>
問題点を踏まえた 目標達成等に 必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>「千葉・県民芸術祭」については、県による広報のほか、各団体が行う広報が効果的になるよう取り組むことが必要です。</li> <li>美術館・博物館においては、魅力ある展示会やイベントを企画して、集客力を高めることが必要です。</li> <li>出土文化財活用事業の「土器ッと古代“宅配便”」の良さを分かっていたいただくために、効果的な広報・周知活動が必要です。</li> </ul>
課題を踏まえた 具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>「千葉・県民芸術祭」については、東京オリンピック・パラリンピック大会の公認文化オリンピックアードとして認証されており、各団体の広報物についても公認マークの使用が可能となることから、各団体に使用を呼びかけ、県民の注目を集められるよう取り組みます。</li> <li>美術館・博物館の展示事業では、テーマをより県民の関心が高い分野や本県の魅力発信が効果的に図れる分野とし、地域の施設や産業と連携して開催します。具体的には、美術館企画展「中山忠彦ー永遠の美を求めてー」、中央博物館特別展「恐竜ミュージアム in ちば」、現代産業科学館企画展「宇宙の味-宇宙日本食と食品保存技術-」、関宿城博物館企画展「文明開化のカーわたしたち、江戸時代を卒業しますー(明治150年記念展示)」、房総のむら企画展「正月を迎える」等を開催します。</li> <li>出土文化財活用事業の「土器ッと古代“宅配便”」においては、学校関係者の研修会や会議・公民館等へ、実物を持参して広報し、新規需要の掘り起こしに取り組みます。</li> </ul>



総合計画政策評価帳票  
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	2 地域文化の保存・継承・活用による地域づくり		取りまとめ担当課	環境生活部県民生活・文化課	取組コード	I-4-①-2
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	493,530	494,250			
	決算額(千円)	495,944				

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況																														
	文化財探検隊の実施回数	3件 (28年度実績値)	3件 (29年度目標値)	2件 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>文化財探検隊の実施回数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>H22</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>H23</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>H24</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>H25</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>H26</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>H27</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>H28</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H21	3	3	H22	3	3	H23	3	3	H24	3	3	H25	3	3	H26	2	3	H27	3	3	H28	3	3	H29	2	3	未達成
	年度	実績値	目標値																																	
	H21	3	3																																	
	H22	3	3																																	
H23	3	3																																		
H24	3	3																																		
H25	3	3																																		
H26	2	3																																		
H27	3	3																																		
H28	3	3																																		
H29	2	3																																		
発掘調査の遺跡見学会実施件数	2件 (28年度実績値)	2件 (29年度目標値)	2件 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>発掘調査の遺跡見学会実施件数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H22</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H23</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H24</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H25</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>H26</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>H28</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H21	0	0	H22	0	0	H23	0	0	H24	0	0	H25	1	1	H26	2	1	H27	1	1	H28	2	2	H29	2	2	達成	
年度	実績値	目標値																																		
H21	0	0																																		
H22	0	0																																		
H23	0	0																																		
H24	0	0																																		
H25	1	1																																		
H26	2	1																																		
H27	1	1																																		
H28	2	2																																		
H29	2	2																																		
美術館・博物館における伝統文化体験事業の参加者数	2,663人 (28年度実績値)	1,700人 (29年度目標値)	2,338人 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>美術館・博物館における伝統文化体験事業の参加者数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>1,370</td><td>1,700</td></tr> <tr><td>H22</td><td>1,811</td><td>1,700</td></tr> <tr><td>H23</td><td>1,888</td><td>1,700</td></tr> <tr><td>H24</td><td>2,214</td><td>1,700</td></tr> <tr><td>H25</td><td>2,663</td><td>1,700</td></tr> <tr><td>H26</td><td>2,338</td><td>1,700</td></tr> <tr><td>H27</td><td>2,663</td><td>1,700</td></tr> <tr><td>H28</td><td>2,338</td><td>1,700</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2,338</td><td>1,700</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H21	1,370	1,700	H22	1,811	1,700	H23	1,888	1,700	H24	2,214	1,700	H25	2,663	1,700	H26	2,338	1,700	H27	2,663	1,700	H28	2,338	1,700	H29	2,338	1,700	達成	
年度	実績値	目標値																																		
H21	1,370	1,700																																		
H22	1,811	1,700																																		
H23	1,888	1,700																																		
H24	2,214	1,700																																		
H25	2,663	1,700																																		
H26	2,338	1,700																																		
H27	2,663	1,700																																		
H28	2,338	1,700																																		
H29	2,338	1,700																																		
房総の郷土芸能の参加者数	700人 (28年度実績値)	750人 (29年度目標値)	940人 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>房総の郷土芸能の参加者数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>819</td><td>750</td></tr> <tr><td>H22</td><td>850</td><td>750</td></tr> <tr><td>H23</td><td>850</td><td>750</td></tr> <tr><td>H24</td><td>939</td><td>750</td></tr> <tr><td>H25</td><td>925</td><td>750</td></tr> <tr><td>H26</td><td>850</td><td>750</td></tr> <tr><td>H27</td><td>900</td><td>750</td></tr> <tr><td>H28</td><td>700</td><td>750</td></tr> <tr><td>H29</td><td>940</td><td>750</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H21	819	750	H22	850	750	H23	850	750	H24	939	750	H25	925	750	H26	850	750	H27	900	750	H28	700	750	H29	940	750	達成	
年度	実績値	目標値																																		
H21	819	750																																		
H22	850	750																																		
H23	850	750																																		
H24	939	750																																		
H25	925	750																																		
H26	850	750																																		
H27	900	750																																		
H28	700	750																																		
H29	940	750																																		

<p>主な実施事項と 成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文化財探検隊」は、地域的なバランスを考慮して年3回実施しています。1回に30～40名を定員として参加者を募集していますが、毎回定員の2～4倍の応募があり、抽選により参加者を決定している状況です。平成29年度は市原市・神崎町・東金市を予定していましたが、第2回の神崎町は雨天のため中止となりました。</li> <li>・地域の遺跡・文化財や発掘調査現場を案内する「文化財めぐりと遺跡見学会」を、市川市国府台地区と流山市市野谷地区・野々下地区の2か所で実施しました。発掘調査現場の見学者は市川市573名、流山市120名の参加があり、地域の文化財に触れる貴重な機会を提供することができました。</li> <li>・美術館・博物館では、伝統文化に関する各種の体験事業を実施しています。平成29年度は、美術館で大人向けの陶芸講座等、中央博物館、現代産業科学館で子供向けの折り紙やカルタ等、関宿城博物館で食文化体験等、65事業を企画・実施し、2,338名の参加者を得ています。</li> <li>・平成30年1月21日に浦安市文化会館で「房総の郷土芸能2017」を実施し、940名の来場者がありました。当日は野田市・柏市・我孫子市・流山市・松戸市・市川市・浦安市から8つの保存団体が民俗芸能を上演し、来場者の民俗芸能への理解や、保存団体の保存継承・公開への意欲の高揚を図りました。</li> </ul>
<p>取組推進に 当たったの 問題点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文化財めぐりと遺跡見学会」は、発掘調査の進捗にもよるため、一定の開催件数が確保できない状況となっています。</li> <li>・「美術館・博物館における伝統文化体験事業」「房総の郷土芸能」では、生活様式、余暇の過ごし方の多様化によって、郷土芸能を含む伝統文化に対する関心が、高いとは言えないことが課題です。</li> </ul>
<p>問題点を踏まえた 目標達成等に 必要な課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文化財めぐりと遺跡見学会」は発掘調査の進捗状況や遺構・遺物の状況等を把握し、県民が参加できる機会を確保する必要があります。</li> <li>・「美術館・博物館における伝統文化体験事業」「房総の郷土芸能」の開催にあたっては、効果的な広報の方法や時期を工夫することともに伝統文化の魅力や継承していくことの意義を広く理解してもらうことが必要です。</li> </ul>
<p>課題を踏まえた 具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文化財めぐりと遺跡見学会」は、チラシの配布等、積極的に広報活動を行うとともに、適切な実施時期を検討し、より多くの県民が参加できるように取り組みます。</li> <li>・「美術館・博物館における伝統文化体験事業」について、テーマや内容、実施形態等を工夫しながら、より多くの方に、気軽に伝統文化を体験していただける事業を継続的に実施していきます。</li> <li>・「房総の郷土芸能」の広報・普及について、実行委員会において、電車中吊り広告の掲出区間、新聞広告の掲載時期やエリア、チラシの配布先やポスターの掲出場所等、有効な方法を検討します。</li> </ul>

総合計画政策評価帳票  
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	3 ちば文化の多様性と発信力強化による新たな価値の創出		取りまとめ担当課	環境生活部県民生活・文化課	取組コード	I-4-①-3
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	103,753	128,652			
	決算額(千円)	96,113				

指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況																														
行政活動目標 (output) 県民の日賛同行事の実施件数	346件 (28年度実績値)	300件 (29年度目標値)	298件 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>行政活動目標の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>314</td><td></td></tr> <tr><td>H22</td><td>311</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td>310</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>345</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td>327</td><td>325</td></tr> <tr><td>H26</td><td>336</td><td>345</td></tr> <tr><td>H27</td><td>337</td><td>340</td></tr> <tr><td>H28</td><td>340</td><td>346</td></tr> <tr><td>H29</td><td>298</td><td>300</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H21	314		H22	311		H23	310		H24	345		H25	327	325	H26	336	345	H27	337	340	H28	340	346	H29	298	300	未達成
年度	実績値	目標値																																	
H21	314																																		
H22	311																																		
H23	310																																		
H24	345																																		
H25	327	325																																	
H26	336	345																																	
H27	337	340																																	
H28	340	346																																	
H29	298	300																																	

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの県民が千葉を愛する心をはぐくむため、6月15日の県民の日を中心に、県、市町村及び各種団体等に県民の日賛同行事の実施を呼びかけ、平成29年度は298件の施設の無料開放や記念イベントなどが実施されました。</li> <li>千葉県全体の魅力を網羅したイベントとして県民の日中央行事(県民のちばワクワクフェスタ2017)を開催するとともに、地域振興事務所のある10地域及び千葉・市原地域の合計11地域で県民の日実行委員会を組織し、地域の特色を活かした事業を行いました。</li> </ul>
取組推進に当たった問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民の日賛同行事はパンフレットや千葉県ホームページ、県民だより等で広報を行いましたが、広報手段の変更に伴って、目標にはわずかに届きませんでした。</li> <li>県民の日中央行事や地域行事の開催は定着しましたが、賛同行事に参加する各種団体等が減少しています。</li> </ul>
問題点を踏まえた目標達成等に必要課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な広報媒体を活用して、賛同行事への参加を広く呼びかける必要があります。</li> <li>千葉への愛着を深めるために、千葉の多様な魅力を継続的にPRしていく必要があります。</li> </ul>
課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>県で保有している広報媒体の更なる活用を図るとともに、企業等に対し賛同行事に参加した場合の広報効果等をPRしていきます。</li> <li>東京オリンピック・パラリンピックを契機に、県民の日の行事だけでなく、開催競技のPRイベントや公認文化オリンピアドとも連携し、千葉の魅力を発信する機会の拡大に努めます。</li> </ul>

総合計画政策評価帳票  
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	4 ちば文化の総合的な推進のための支援・連携体制の構築		取りまとめ担当課	環境生活部県民生活・文化課	取組コード	I-4-①-4
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	1,820,448	1,870,266			
	決算額(千円)	1,773,570				

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	行政活動目標 (output)	文化活動ボランティア登録件数	66件 (28年度実績値)	50件 (29年度目標値)	37件 (29年度実績値)	

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化活動を通してのボランティアを企画している者と、ボランティア活動の受け入れを希望する者とを結びつける手伝いなど、文化芸術活動を支える「文化活動ボランティアネットワーク事業」についてはボランティアの活動状況を調査・確認した結果、登録件数は37件となりました。</li> <li>県立文化会館4館の入場者数は、わずかではあります前年度から減少(約0.7%)しています。</li> </ul>
取組推進に当たった問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化活動ボランティアの登録数が減少したのは、登録している団体の情報の更新を3年ぶりに行い、活動していない団体の情報を削除したことによります。</li> <li>件数が増加しない要因は、文化活動ボランティアという事業自体が認知されていないことがあります。</li> <li>県立文化会館については、継続的な利用は一定程度見込まれますが、今まで文化会館を利用したことのない県民にはその存在や実施されている事業が認知されていません。</li> </ul>
問題点を踏まえた目標達成等に必要課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録件数を増加させるためには、千葉県ホームページによる事業の広報を行い、文化活動ボランティアを広く周知することが必要です。</li> <li>文化会館については、継続的な利用者への対応に加え、文化会館へ来る機会のない県民へのアプローチが求められます。</li> </ul>
課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県ホームページにより、文化活動ボランティア事業の説明や、マッチングまでの流れ等の情報を充実させます。</li> <li>文化活動ボランティアそのものについて広く認識してもらえよう、千葉県ホームページのほか様々な機会を捉えて広報していきます。</li> <li>各文化会館において、より多くの県民が鑑賞・体験・参加しやすい事業を企画、実施するとともに、チラシ等の印刷物やインターネット等様々な広報媒体を活用して、文化会館そのものや文化会館で行われる事業の周知を図ります。</li> </ul>

総合計画政策評価帳票  
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	5 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたちばの文化力向上		取りまとめ担当課	環境生活部県民生活・文化課	取組コード	I-4-①-5
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	729,765	740,067			
	決算額(千円)	720,327				

指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
<b>行政活動目標 (output)</b> 千葉県での「公認文化オリンピアド」に参加したアーティストの人数(累計)	380人 (28年度実績値)	570人 (29年度目標値)	18,666人 (29年度実績値)		達成

<b>主な実施事項と成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度後半から、東京オリンピック・パラリンピック大会の機運醸成のため、公認文化オリンピアドの認証が開始され、大会組織委員会や国等とともに広報活動に努めたところ、29年度は目標を大きく上回るアーティストが公認文化オリンピアドに参加しました。文化庁の目標値の都道府県単位に按分した数値を目標としていましたが、大きな前進が見られることから、30年度は目標値を高く設定します。</li> <li>平成29年度半ばから、千葉県もbeyond2020プログラムの認証主体となり、公認文化オリンピアドだけでなく、多様な文化事業が県内外で活性化するように努めたところ、50件のプログラムの認証を行いました。</li> </ul>
<b>取組推進に当たった問題点等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリンピック・パラリンピックを契機に、さらに文化芸術にふれる県民が増加することが期待されます。</li> <li>beyond2020プログラム自体が周知されておらず、市町村や一部の文化芸術団体が認知している状態にとどまっています。</li> </ul>
<b>問題点を踏まえた目標達成等に必要課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公認文化オリンピアドを含め、文化プログラムへの参加方法や鑑賞機会について、さらに広報を行っていく必要があります。</li> <li>県民がbeyond2020プログラムを通じて文化にふれる機会の増加を図るため、事業実施団体のみならず、広く県民へ広報することが必要です。</li> </ul>
<b>課題を踏まえた具体的な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県ホームページ等の様々な媒体を活用し、公認文化オリンピアド等の文化プログラムの周知を行うとともに、「千葉・県民音楽祭」や「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』選定事業」等の県民参加型の事業を企画し、文化にふれる県民の増加を図ります。</li> </ul>

## I-4-②「するスポーツ」、「みるスポーツ」、「ささえるスポーツ」の推進

- 1 人生を豊かにするための運動・スポーツの推進
- 2 スポーツ環境の整備
- 3 競技力の向上
- 4 スポーツによる地域づくりの推進
- 5 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進

総合計画政策評価帳票  
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	1 人生を豊かにするための運動・スポーツの推進		取りまとめ担当課	教育庁教育振興部体育課	取組コード	I-4-②-1
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	17,900	34,942			
	決算額(千円)	17,729				

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況																																																															
	補助指標 (中間outcome)	週1回程度のスポーツ実施率(世代別)	20~39歳38.4% 40~59歳41.4% 60歳以上75.4% (28年度実績値)	増加を目指します (29年度目標値)	20~39歳37.7% 40~59歳37.9% 60歳以上76.8% (29年度実績値)	<p>週1回程度のスポーツ実施率 (20~39歳)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>H25</td><td>38.2</td><td>38.4</td></tr> <tr><td>H26</td><td>33.6</td><td>36.0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>36.0</td><td>36.0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>38.4</td><td>38.4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>37.7</td><td>38.4</td></tr> <tr><td>H30</td><td>37.7</td><td>38.4</td></tr> </table> <p>週1回程度のスポーツ実施率 (40~59歳)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>H25</td><td>42.7</td><td>41.4</td></tr> <tr><td>H26</td><td>41.2</td><td>41.4</td></tr> <tr><td>H27</td><td>41.4</td><td>41.4</td></tr> <tr><td>H28</td><td>41.4</td><td>41.4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>37.9</td><td>41.4</td></tr> <tr><td>H30</td><td>37.9</td><td>41.4</td></tr> </table> <p>週1回程度のスポーツ実施率 (60歳以上)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>H25</td><td>76.6</td><td>75.4</td></tr> <tr><td>H26</td><td>74.3</td><td>75.4</td></tr> <tr><td>H27</td><td>75.4</td><td>75.4</td></tr> <tr><td>H28</td><td>75.4</td><td>75.4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>75.4</td><td>75.4</td></tr> <tr><td>H30</td><td>76.8</td><td>75.4</td></tr> </table>	年度	実績値	目標値	H25	38.2	38.4	H26	33.6	36.0	H27	36.0	36.0	H28	38.4	38.4	H29	37.7	38.4	H30	37.7	38.4	年度	実績値	目標値	H25	42.7	41.4	H26	41.2	41.4	H27	41.4	41.4	H28	41.4	41.4	H29	37.9	41.4	H30	37.9	41.4	年度	実績値	目標値	H25	76.6	75.4	H26	74.3	75.4	H27	75.4	75.4	H28	75.4	75.4	H29	75.4	75.4	H30	76.8	75.4
年度	実績値	目標値																																																																			
H25	38.2	38.4																																																																			
H26	33.6	36.0																																																																			
H27	36.0	36.0																																																																			
H28	38.4	38.4																																																																			
H29	37.7	38.4																																																																			
H30	37.7	38.4																																																																			
年度	実績値	目標値																																																																			
H25	42.7	41.4																																																																			
H26	41.2	41.4																																																																			
H27	41.4	41.4																																																																			
H28	41.4	41.4																																																																			
H29	37.9	41.4																																																																			
H30	37.9	41.4																																																																			
年度	実績値	目標値																																																																			
H25	76.6	75.4																																																																			
H26	74.3	75.4																																																																			
H27	75.4	75.4																																																																			
H28	75.4	75.4																																																																			
H29	75.4	75.4																																																																			
H30	76.8	75.4																																																																			
行政活動目標 (output)	デリバリ講座への参加者人数	1,491人 (28年度実績値)	増加を目指します (29年度目標値)	1,322人 (29年度実績値)	<p>週1回程度のスポーツ実施率 (60歳以上)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>H25</td><td>1367</td><td>1491</td></tr> <tr><td>H26</td><td>1417</td><td>1491</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1347</td><td>1491</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1491</td><td>1491</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1322</td><td>1491</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1322</td><td>1491</td></tr> </table>	年度	実績値	目標値	H25	1367	1491	H26	1417	1491	H27	1347	1491	H28	1491	1491	H29	1322	1491	H30	1322	1491	未達成																																										
年度	実績値	目標値																																																																			
H25	1367	1491																																																																			
H26	1417	1491																																																																			
H27	1347	1491																																																																			
H28	1491	1491																																																																			
H29	1322	1491																																																																			
H30	1322	1491																																																																			

<p><b>主な実施事項と成果</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月をスポーツ推進月間とし、総合型地域スポーツクラブと小学校が連携した「スポーツで元気いっぱい！親子体験イベント」を9クラブで実施し、51校に参加要請を行い、小学生362人、一般273人の計635人の参加がありました。また、総合型地域スポーツクラブ交流大会「スポネットちば」等を開催し、15市町にある22クラブから延べ465人の参加がありました。</li> <li>・スポーツを身近な地域で親しむことを目的とした地域住民により運営される総合型地域スポーツクラブは、現在35市町に81クラブが設立されています。</li> </ul>
<p><b>取組推進に当たった問題点等</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「世代別のスポーツ実施率」の目標が達成できなかったのは、スポーツに関心はあるが、「忙しくて時間がない」「疲れていて体力的余裕がない」という理由で、20歳から50歳代のスポーツ実施率が低いと思われます。</li> <li>・総合型地域スポーツクラブ交流大会「スポネットちば」においては、参加クラブが広がっていないことや参加者の高齢化等が問題となりつつあります。</li> <li>・地域のスポーツ拠点を広げるため、総合型地域スポーツクラブの未設置市町村を減らす必要があります。そのためには、クラブを設立・維持するための人材不足や、クラブの必要性についての周知不足をどのように補っていくかが問題となります。</li> </ul>
<p><b>問題点を踏まえた目標達成等に必要課題</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らスポーツに参加することの楽しさ、スポーツが健康の保持増進、体力の維持向上に繋がることを啓発していくとともに、「いつでも・誰でも・どこでも・誰とでも」気軽にスポーツに取り組める環境整備が必要です。</li> <li>・子育て・働き世代の週1回以上のスポーツ実施率が低調なため、この世代のスポーツ実施率を向上させることが必要ですが、運動の習慣化に繋がるようなプログラムの提供ができるかが課題です。</li> <li>・総合型地域スポーツクラブ交流大会への参加クラブ・参加者数を増やすには、県下全域にクラブを設立することが望ましいと考えます。そのためには、クラブの立ち上げ、維持、クラブメンバーのニーズを反映した運営が行える、マネジメント能力に長けたクラブマネージャーの養成と、クラブの必要性を理解してもらうための効果的な情報提供の検討が必要です。</li> </ul>
<p><b>課題を踏まえた具体的な取組</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「千葉県スポーツ情報センター」と連携し、県立スポーツ施設の無料開放等によるスポーツを行うことのできる場の提供、「スポーツ立県ちば推進月間」関連イベントの実施や紹介等の機会の提供、スポーツイベントや公共スポーツ施設利用に関する情報の提供等を行っていきます。</li> <li>・親子体験等のイベント(県内9カ所、約800名)は、より多くの地域、開催期間、回数を増やし、その後の運動習慣につながるよう、広報活動にも力を入れていきます。</li> <li>・総合型地域スポーツクラブの未設置市町村に対して県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と連携してクラブ設置への機運を高めるとともに、県のホームページ等にクラブ設立や運営にかかる事例を紹介するなどの情報提供を行います。併せて、既設のクラブにおける実践的なクラブマネージャーの養成に努めます。</li> </ul>



総合計画政策評価帳票  
(様式2-2) 主な取組評価シート

取組名	2 スポーツ環境の整備		取りまとめ担当課	教育庁教育振興部体育課	取組コード	I-4-②-2
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	696,350	868,159			
	決算額(千円)	335,282				

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	公認スポーツ指導者登録数		923人 (28年度実績値)	増加を指します (29年度目標値)	907人 (29年度実績値)	
総合型地域スポーツクラブ認知度		7.8% (28年度実績値)	増加を指します (29年度目標値)	15.9% (29年度実績値)		達成

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯スポーツ認定指導者等講習会(全6回・15名参加)を開催し、スポーツ指導者の養成を行いました。また、養成した指導者の資質の向上を図るため、認定スポーツ指導者研修会(82名参加)を開催しました。</li> <li>地域のスポーツ指導者に最新のスポーツ理論や実技指導に触れてもらうことを目的とした地域スポーツ指導者研修会を、県内5地区輪番で開催しています。平成29年度は葛南教育事務所管内にて開催し26名が参加しました。</li> <li>スポーツ活動を通じて地域住民との交流を生む場となっている県立学校の体育施設開放を62校において行いました。</li> </ul>
取組推進に当たった問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯スポーツ指導者に対する各種研修会や講習会への受講者数が少なく、各地区の課題や住民のニーズへの対応が十分とは言いがたいです。</li> <li>学校開放事業は、学校部活動との調整や体育施設開放運営委員会の設置、さらに管理指導員の配置等が必要なことから、地域スポーツの推進に必要なことと感じながらも実施できない、という現状があります。</li> </ul>
問題点を踏まえた目標達成等に必要課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域におけるスポーツ推進を図るためには、正しい知識を持った生涯スポーツ指導者の存在が不可欠です。従って、スポーツにおける最新のスポーツ理論や実技指導に触れることができる各種研修会や講習会への受講者数を増やす必要があります。</li> <li>学校開放事業では、いつでもスポーツが行える場を提供できるように、さらなる開放校の増加が必要です。</li> </ul>
課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県広域スポーツセンター・各クラブ・市町村の3者間における連絡・調整を十分に行い、生涯スポーツ指導者に対する各種講習会の実施時期やより効果的な広報の方法を検討し、参加しやすい時期やより分かりやすい募集要項の作成に努め、参加者数の増加を目指します。</li> <li>県立学校体育施設開放事業では開放校数の増加に向け、各校の運営委員会の委員長に対して、地域との相互理解と連携強化を進め利用者が利用しやすい体制づくりを行うよう依頼します。</li> <li>東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致を位置付けた基本方針等を策定している市町村等が実施する、競技施設の整備・バリアフリー化・多言語対応等の事業に対する貸付の制度(市町村振興基金)については実績がなかったため、制度の周知を図り、制度が有効に活用されるよう努めていきます。</li> </ul>

総合計画政策評価帳票  
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	3 競技力の向上		取りまとめ担当課	教育庁教育振興部体育課	取組コード	I-4-②-3
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	1,553,443	1,528,739			
	決算額(千円)	1,516,098				

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	国民体育大会入賞者数		286人 (26～28年度 実績平均値)	増加をargetします (29年度目標値)	288人 (29年度実績値)	
全国障害者スポーツ大会参加者が金メダルを獲得した割合		57.4% (28年度実績値)	増加をargetします (29年度目標値)	61.7% (29年度実績値)		達成

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「愛媛国体」に出場する選手の強化練習・強化合宿・県外遠征等を40競技・指導者のべ1,882人・選手のべ6,903人で実施し、天皇杯得点8位、皇后杯得点6位入賞を果たしました。また、ジュニア選手(主に中学生)の強化練習・強化合宿等を40競技・指導者のべ4,052人・選手のべ119,142人で実施しました。</li> <li>・強化練習等に必要な競技用具等を4競技で整備しました。整備計画達成度が100%となり、5ヶ年計画の目標を達成しました。</li> <li>・マルチコンディショニングサポート事業では、8団体のジュニア選手192人に運動能力測定を行い、個々に応じたトレーニング処方を行うとともに、14競技の強化練習等のべ158日にトレーナーを派遣し、けがの予防等に努めました。</li> <li>・東京パラリンピックに出場が期待される有望な選手を掘り起こすために12競技で競技体験会を開催するとともに、選手を強化指定し、競技力向上に向けた活動を支援しました。29年度は特別強化指定55名、基礎強化指定36名と2団体を指定した結果、各種大会で優秀な成績を収める選手を輩出することができました。</li> </ul>
取組推進に当たっての問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技団体における選手育成担当者が教員であることが多いため、選手の育成・強化に専念できる専任スタッフが不足しています。</li> <li>・マルチコンディショニングサポート事業について、競技の特性に応じた測定への対応不足や、事業の活用方法の周知不足により利用が伸び悩んでいます。</li> <li>・障害者スポーツは、競技人口が少ないことに加えて競技団体の組織が発展途上であることから、有望な競技者の発掘及び競技の普及が進みにくい点が問題です。</li> </ul>
問題点を踏まえた目標達成等に必要課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技成績の維持・向上のカギとなる各競技団体の組織の発展・充実のため、各競技団体の強化スタッフや、普及育成スタッフなどの人材育成が必要です。</li> <li>・マルチコンディショニングサポート事業の利用不足については、競技の特性に応じた測定項目づくりや効果的な事業の活用方法の周知を図る必要があります。</li> <li>・障害者スポーツ体験会の周知方法を検討し、参加者の増加を目指すとともに、競技者の発掘や競技団体の整備については、県と各関係団体との連携が不可欠であることから、どのような協力体制を作っていくかが課題です。</li> </ul>
課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各競技特性に合わせた組織づくりを促進するために、競技団体の現状を把握し、普及育成や強化の担当スタッフの充実等、より綿密な組織づくりを促進します。</li> <li>・マルチコンディショニングサポート事業については、現在未実施の競技団体が希望する測定項目の導入を検討するとともに、各競技の担当者と直接連絡をとるなど、きめの細かい広報を展開します。</li> <li>・障害者スポーツを子供たちにもっと知ってもらうために、普通学校や特別支援学校に対し、より一層の広報活動を推進していきます。また、対応が遅れている障害者競技選手の強化に関する県庁内及び各関係団体との協力体制を早急に構築することに努めます。</li> </ul>

総合計画政策評価帳票  
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	4 スポーツによる地域づくりの推進		取りまとめ担当課	教育庁教育振興部体育課	取組コード	I-4-②-4
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	59,100	151,934			
	決算額(千円)	55,626				

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況														
	トップ・プロチームと連携した地域割合	38.9% (28年度実績値)	増加を目指します (29年度目標値)	61.1% (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>グラフデータ: トップ・プロチームと連携した地域割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>38.9</td> <td>38.9</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>61.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H26			H27			H28	38.9	38.9	H29	61.1	
年度	実績値	目標値																		
H26																				
H27																				
H28	38.9	38.9																		
H29	61.1																			
スポーツ推進委員の地区イベントにかかわっている割合	63.0% (28年度実績値)	増加を目指します (29年度目標値)	68% (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>グラフデータ: スポーツ推進委員の地区イベントにかかわっている割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>63.0</td> <td>63.0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>68.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H26			H27			H28	63.0	63.0	H29	68.0		達成
年度	実績値	目標値																		
H26																				
H27																				
H28	63.0	63.0																		
H29	68.0																			

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト」事業では、千葉ロッテマリーンズ10試合20,000組、千葉ジェッツふなばし6試合6,000組、ジェフユナイテッド市原・千葉3試合1,500組の児童と保護者を公式戦に招待するとともにキャリア体験の場を提供しました。また、「ちば夢チャレンジかなえ隊」派遣事業では、県内トップ・プロチーム8団体に所属する選手やOB、コーチ等を講師として派遣し、体育・スポーツ活動での交流を10校で開催しました。</li> <li>「ちばアクアラインマラソン2018」の開催にあたり、マラソン参加への心理的ハードルを下げ、より幅広い層に「するスポーツ」の楽しさを感じる機会を提供するため、家族や仲間等とチームで気軽に参加できるよう複数名のグループエントリーを採用し、参加チームごとにタイムを競う「団体戦」を新たに実施することとしました。</li> <li>アクアラインと千葉県の魅力を広く発信するため、台湾(台北市、高雄市)とのマラソン相互交流(ランナー交流等)として職員を派遣しました。また、台湾(桃園市)に職員を派遣し、相互交流の実施に向けた協議を行いました。</li> </ul>
取組推進に当たった問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>トップ・プロスポーツ団体との連携事業である「ちば夢チャレンジ☆パスポートプロジェクト」「ちば夢チャレンジかなえ隊」では、申込方法や派遣できる学校に限られるなど、多様なニーズへの対応が十分とは言えません。</li> <li>「ちばアクアラインマラソン」においては、外国人ランナーや来場者の増加に伴い、通訳ボランティアの確保等、ニーズが多様化していくことが考えられます。</li> </ul>
問題点を踏まえた目標達成等に必要課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト」「ちば夢チャレンジかなえ隊」では、多くの子どもたちにプロスポーツの素晴らしさに触れてもらうため、さらにトップスポーツクラブとの連携を推進する必要があると考えます。</li> <li>「ちばアクアラインマラソン2018」の開催にあたっては、様々な広報媒体を活用して十分な大会周知を図るとともに、大会運営員(ボランティア)の確保・教育が必要です。</li> </ul>
課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト」「ちば夢チャレンジかなえ隊」では、学校や保護者の要望の把握と、学校行事とプロスポーツ団体の競技シーズンのすり合わせを行い、よりよい事業展開をすることで、「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の推進を図っていきます。</li> <li>「ちばアクアラインマラソン2018」では、大会のポイント(ランナー募集期間や大会前イベントなど)となる時点を中心に、テレビやラジオ・新聞を活用した広報、また他のキャンペーンやイベントと連携した効果的な盛り上げ方策などを検討していきます。また、大会運営員(ボランティア)の確保に努め、説明会を早期に開催し、多様化するニーズに応じた大会運営に努めます。</li> </ul>

総合計画政策評価帳票  
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	5 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進		取りまとめ担当課	教育庁教育振興部体育課	取組コード	I-4-②-5
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	286,400	313,700			
	決算額(千円)	244,745				

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	日本代表やナショナルチームのメンバーに入った県強化指定選手数(オリンピック)	40人 (28年度実績値)	増加を 目指します (29年度目標値)	44人 (29年度実績値)		達成
	「オリパラ教育実施校」の認証数	2校 (28年度実績値)	50校 (29年度目標値)	39校 (29年度実績値)		未達成
	開催競技やオリンピック・パラリンピックに関する普及・啓発イベントの開催件数(累計)	15件 (28年度実績値)	30件 (29年度目標値)	42件 (29年度実績値)		達成
	ナショナルチームのキャンプ誘致数(累計)	25チーム (28年度実績値)	27チーム (29年度目標値)	25チーム (29年度実績値)		未達成
	国際スポーツ大会支援事業を活用した大会数(累計)	—	2回 (29年度目標値)	2回 (29年度実績値)		達成

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
行政活動目標 (output)	スポーツコンシェルジュが支援し、事前キャンプやスポーツイベントの誘致につながった件数(累計)	3件 (28年度実績値)	15件 (29年度目標値)	7件 (29年度実績値)		未達成

主な実施事項と 成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京オリンピック出場を目指す選手を強化指定し、競技力向上に向けた活動を支援しました。29年度は特別強化指定121名の指定を行い、この中で、日本代表や国際大会への出場者を44名輩出し、中でも柔道世界選手権大会や女子レスリング世界大会で優勝するなど、世界で活躍する優秀な成績を収める選手を輩出することができました。</li> <li>県内開催8競技の普及及び大会に向けた機運の醸成を図るため、競技団体・市町村・大学・経済団体等と連携し、両大会の3年前及び1,000日前など年間で27件のイベント・体験会等を実施しました。</li> <li>2015世界陸上北京大会の事前キャンプを受け入れたアメリカ・オランダから高く評価されたことや、オランダに対するトップセールスを行った結果、アメリカ陸上チームとオランダオリンピック委員会のナショナルチームが、本県で事前キャンプを行うことで合意を得ました。</li> <li>オリンピック・パラリンピック実施競技に係る2競技の国際スポーツ大会開催の支援を行いました。</li> <li>県の委託により設置された「千葉県スポーツコンシェルジュ」の支援により、世界女子ソフトボール選手権大会の事前キャンプの誘致や、国内で行われたソフトボール国際大会のための強化合宿の県内実施を実現することができました。</li> <li>「オリパラ教育実施校」については、認証校申請に関する通知(H29.1・H29.10の2回)を行うとともに、各種会議においてオリンピック・パラリンピックを活用した教育についての説明と併せて通知の補足の説明を行いました。「オリパラ教育」という言葉の浸透とともに、認証校が増えてきています。</li> </ul>
取組推進に 当たっての 問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>強化指定の事業は選手たちを支援することが目的ですが、選手の怪我や不調により実績が残せなかった選手への救済ができない現状があります。</li> <li>イベントを通して高めた興味・関心を、実際の試合観戦や2020大会のチケット購入に結びつけられる取組となっているかが分かりづらくなっています。</li> <li>事前キャンプの決定が大会の直前になることが多く、さらに決定までに時間を要することがあり問題となっています。</li> <li>「オリパラ教育実施校」の認証数が徐々に増えてはいるものの、目標に届かなかったのは、申請手続きのための煩雑さが原因と考えられます。</li> </ul>
問題点を踏まえた 目標達成等に 必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京オリンピックへ多くの選手を輩出するという目的達成のためには、これまでの成果を継承するとともに東京オリンピック出場可能性の高い選手に特化した、より柔軟な事業を継続していく必要があります。</li> <li>イベント参加から実際の試合観戦という行動の動機づけとなるような仕掛けや、持続性・継続性のある企画が今まで以上に必要であると考えます。</li> <li>事前キャンプを誘致するに当たり、希望するナショナルチームの条件を把握し、競技施設管理者と調整が必要となってきます。</li> <li>「オリパラ教育実施校」の認証手続きの伸びの鈍化の原因となっている煩雑な認証の手続きについてわかりやすく説明する方法を検討すること、また認証後に学校ができることを示していくことが必要です。</li> </ul>
課題を踏まえた 具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種大会の主催者と連携し、イベント等の開催時に大会の告知を可能な限り実施していきます。</li> <li>メディア、SNS等を活用し、多方面から継続的な情報発信を実施いたします。</li> <li>千葉県スポーツコンシェルジュを活用し、各国及び各競技団体の事前キャンプ実現に対する希望や条件等の情報収集に努め、ノウハウの共有や情報発信等を継続的に実施します。併せて、市町村・大学・民間施設等による広域的な連携体制を構築し、事前キャンプ実現のための支援に努めます。</li> <li>「オリパラ教育実施校」の認証数を増やすために、認証手続きや認証後に行えることの概要を文書などで各学校に周知していきます。</li> </ul>